

サイエンスサマースクール開催による地域理科教育の普及啓発

氏名 内田龍男（57 歳）
現職 大学院工学研究科副研究科長

氏名 中鉢憲賢（71 歳）
現職 東北大学 名誉教授

氏名 唐澤信司（62 歳）
現職 宮城工業高等専門学校 教授

氏名 小関康雄（72 歳）
現職 PTC（太平洋電気通信協議会
名誉会長

氏名 安藤 晃（46 歳）
現職 大学院工学研究科 助教授

業 績

科学技術立国を目指す我が国では、少年期から科学的な探求の面白さを実感し、独創性、チャレンジ精神などを育むことが極めて重要であるが、一方で「若年層の理工学離れ」が社会問題化しつつあった。

本活動は、「たのしい科学企画委員会」を結成し、(財)国際コミュニケーション基金の支援および地域の教育委員会や理科教員の協力を得て、平成6年にサイエンスサマースクールを開始した。主題として、東北大学電気系の特徴を生かした「光とエレクトロニクス」を取り上げ、近隣の大学や高等専門学校のボランティア教員約30名、学部学生及び大学院生約30名の協力を得て、毎年夏休みに実施している。

これまでの11年間に延べ433名の中学生が宮城県全域および県外から本活動に参加しており、参加者の中学校数は132校と宮城県内の学校数の半数以上を数えている。この間、連合中学校教育研究会理科部会、電気学会、電子情報通信学会、応用物理学会、(財)みやぎ産業科学振興基金等が支援に加わり大きな社会的活動に成長した。また本活動に触発された活動が各地で行われており、国民各々の科学技術に関する関心・興味を喚起し、理解増進に寄与している。

（参考文献）

「平成6年度たのしいサイエンスサマースクールー光とエレクトロニクスー実験テキスト」
たのしい科学企画委員会、1997年7月発行
他、平成7年度～16年度まで毎年改訂版を発行（全11冊）